



「教育の情報化に関する手引き 第7章 教員のICT活用指導力の向上  
(図7-2 わかりやすく説明するために提示装置などを効果的に活用)」より

# 教育情報化トレンド

# 情報教育

**= 生徒の情報活用能力の育成**

## ○ 情報活用の実践力

**情報を主体的に収集、処理、表現、創造、伝達できる力**

## ○ 情報の科学的な理解

**情報手段の特性の理解、基礎的な理論や方法の理解**

## ○ 情報社会に参画する態度

**情報モラルを考え、情報社会に参画しようとする態度**

# 情報教育

= 生徒の情報活用能力の育成

○ 情報活用の実践力

情報を主体的に収集、処理、表現、創造、伝達できる力

つかむ 集める

まとめる 発表する

# 教育の情報化

H23 文科省

- 情報活用能力の育成
- 教科指導におけるICT活用
- 校務の情報化

# 21世紀に求められる能力の事例

米国 21世紀スキルのためのパートナーシップ

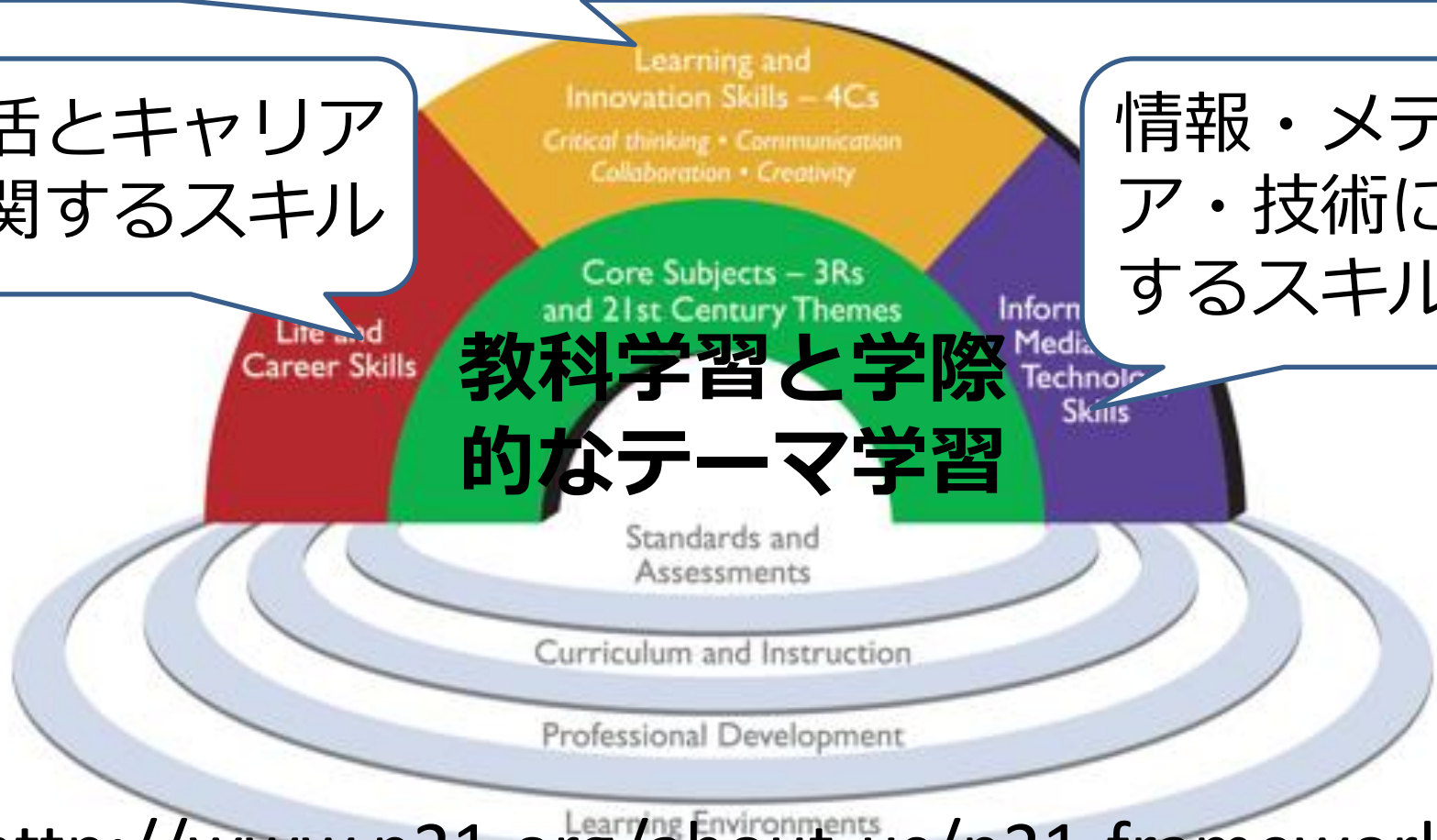
学習に関するスキル

批判的思考・コミュニケーション・協働・創造性

生活とキャリア  
に関するスキル

情報・メディア  
技術に関する  
スキル

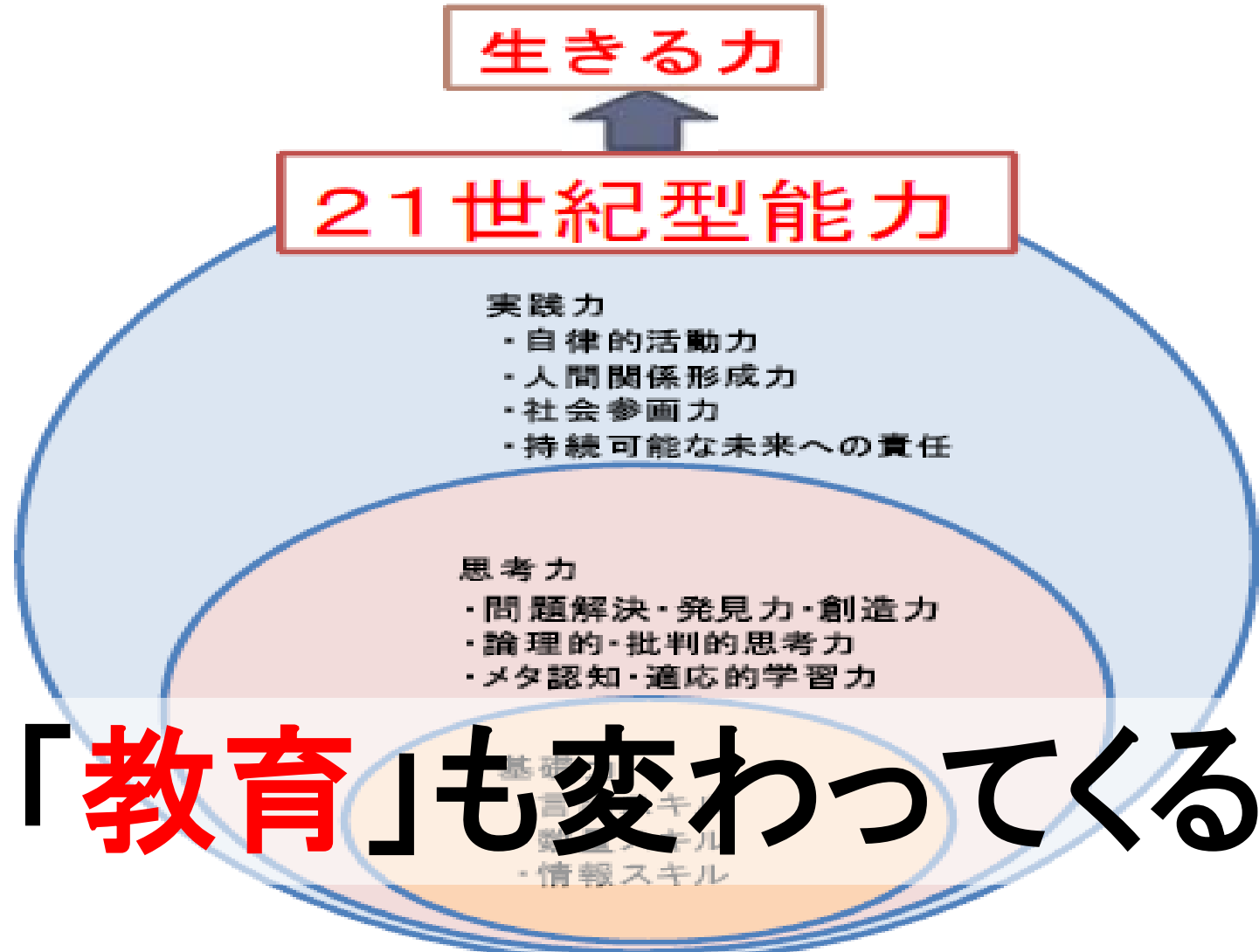
教科学習と学際  
的なテーマ学習



<http://www.p21.org/about-us/p21-framework>

## 21世紀に求められる能力の事例

国立教育政策研究所による提案



# 教科指導におけるICT活用

一斉学習	個別学習		協働学習	
教員による 教材の提示	個に応じる学習	調査活動	発表や話し合い	協働での 意見整理
思考を深める学習	表現・制作	家庭学習	協働制作	学校の壁を 越えた学習

# 国の流れ . . .

... 国としてめざしているのは  
学びのイノベーション事業  
(文部科学省) より



# 国としてめざしているのは

- 21世紀を生きる子供たちに求められる力(知識や情報を活用する能力やテクノロジーを活用する能力)を育む教育を行うことが重要。
- 授業等にICTを導入していくことにより、これまでの授業スタイルに加えて子供たち同士が教え合い学び合うといった協働的な学びを推進する必要。

2020年度に向けた  
教育の情報化に関する  
総合的な推進方策  
(平成23年4月取りまとめ)



# 学びのイノベーション事業 (平成23年度~25年度)

A 一斉学習	B 個別学習		C 協働学習	
<p>挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。</p>	<p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。</p>		<p>タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学习において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。</p>	
<p><b>A1 教員による教材の提示</b></p>  <p>画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p>	<p><b>B1 個に応じる学習</b></p>  <p>一人一人の習熟の程度等に応じた学習</p>	<p><b>B2 調査活動</b></p>  <p>インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p>	<p><b>C1 発表や話し合い</b></p>  <p>グループや学級全体での発表・話し合い</p>	<p><b>C2 協働での意見整理</b></p>  <p>複数の意見・考えを議論して整理</p>
<p><b>B3 思考を深める学習</b></p>  <p>シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p>	<p><b>B4 表現・制作</b></p>  <p>マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p>	<p><b>B5 家庭学習</b></p>  <p>情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p>	<p><b>C3 協働制作</b></p>  <p>グループでの分担、協働による作品の制作</p>	<p><b>C4 学校の壁を越えた学習</b></p>  <p>遠隔地や海外の学校等との交流授業</p>